

# シンポジウム

## 「計算物性物理の進展と今後の展望」

日時：2007年5月12日(土)午後1時より

場所：東京大学山上会館

事前登録不要（参加費無料）

詳細は <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/public/keisan> をご覧ください

### プログラム：

13:00 ~

あいさつ

13:10 ~ 13:55

常行 真司 東京大学大学院理学系研究科 准教授

「第一原理からの物性予測」からの進展

13:55 ~ 14:40

今田 正俊 東京大学大学院工学系研究科 教授

「計算物理学」と「強相関量子系物理学」の進歩

14:40 ~ 15:00

休憩

15:00 ~ 15:45

岡部 豊 首都大学東京 大学院理工学研究科 教授

「コンプレックス系における協力現象」からの進展

15:45 ~ 16:30

土井 正男 東京大学大学院工学系研究科 教授

「多体系・巨視系のダイナミクス」からの進展

16:30 ~ 16:50

休憩

16:50 ~ 17:50

高山 一 東京大学物性研究所 教授\*

重点領域研究から15年を経て

(\*: 現 Journal of the Physical Society of Japan 専任編集長)

世話人：根本幸児（北大理）、松川宏（青学大理工）、福島孝治（東大総合）、  
藤堂眞治（東大工）、吉野元（阪大理）、富田裕介（東大物性研）